

会 議 録

1 会議名

第9回大潟区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

・報告事項（公開）

（1）家庭ごみ分別区分変更について

（2）平成29年度地域活動支援事業（大潟区）成果報告会について

・協議事項（公開）

（1）平成30年度地域活動支援事業の取組方針について

（2）自主的審議事項「大潟区の魅力発見・発見」について

3 開催日時

平成30年1月25日（木）午後6時30分から午後8時25分まで

4 開催場所

大潟コミュニティプラザ 大会議室

5 傍聴人の数

0人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

・委員：佐藤忠治（会長）、君波豊（副会長）、石田浩二、梅木英亮、後藤紀一、
小山茂、佐藤博之、新保正雄、内藤恒、中嶋浩、西田耕一、細井義久、
柳澤周治、山田幸作

（16名中14名出席）

・事務局：鍵田大潟区総合事務所長、熊木次長（総務・地域振興グループ長兼務）、
道場市民生活・福祉グループ長（教育・文化グループ長兼務）、
朝日総務・地域振興グループ班長、佐藤総務・地域振興グループ主任
（以下、グループ長はG長と表記）

8 発言の内容（要旨）

【熊木次長】

- ・会議の開会を宣言
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告。

【佐藤忠治会長】

- ・挨拶
- ・会議録の確認：小山茂委員に依頼

【熊木次長】

では、報告事項に入る。議長は会長が務める。

【佐藤忠治会長】

報告事項（1）家庭ごみ分別区分変更について事務局より説明する。

【道場G長】

資料No.1により説明。

【佐藤忠治会長】

ただ今の説明について意見、質問等はないか。

【後藤紀一委員】

プラスチック製品でプランターや植木鉢等は、細かくして燃やせるごみとして出すことは可能か。

【道場G長】

1辺が50cm以下であれば出せるので、砕いて袋に入れば大丈夫である。

【佐藤忠治会長】

ほかにないか。

【君波副会長】

集積場に出されるごみが多くなるのではないか。各隣組においてごみ集積場の籠を購入する場合は、助成金があったがその制度はまだ生きているか。

【道場G長】

まだ、大丈夫である。プラスチック類等の燃やせないごみは、区分変更により燃やせるごみとなり、排出の機会がこれまでの月2回から週3回に増えるためそれほど多くは

ならないのではないか。

【小山茂委員】

今は燃やせないごみは第1と第3の月曜日であるが、それが週3回になるということか。

【道場G長】

週3回は、燃やせるごみである。

【小山茂委員】

燃やせるごみは今も週3回である。そこに出すということか。燃やせないゴミは今ままで通りということか。

【道場G長】

そうである。いままで燃やせないゴミであったプラスチック類等が50cm以下であれば燃やせるごみとなり、排出の機会が増えるということである。

【柳澤周治委員】

平成30年度ごみ分別カレンダーは、何時頃出るか。

【道場G長】

3月1日の広報発行日に合わせて、ガイドブックと一緒に出る予定である。

【小山茂委員】

いつまでもわがままを言うつもりはないが、最初のスタートの段階は少し幅を持たせていただきたい。

【道場G長】

1年間は猶予期間として、燃えるゴミが燃えないゴミとして出されても回収する。

【内藤恒委員】

プラ系の燃やせないごみは少なくなるということか。

【道場G長】

そうである。

【内藤恒委員】

水曜日の容器包装回収は変わらないということか。

【道場G長】

そうである。

【佐藤忠治会長】

では、よろしいか。続いて、平成29年度地域活動支援事業成果報告会について事務局より説明する。

【佐藤主任】

資料No.2により説明。

【佐藤忠治会長】

事務局からの説明について、質問、意見はないか。

【後藤紀一委員】

自主的審議事項の状況報告であるが15分間でどのように誰がやるのか確認されていたか。

【佐藤忠治会長】

打合せでは私が概要の説明を行った後に、グループのリーダーが報告をする。

【柳澤周治委員】

時間はどれくらいあるのか。

【佐藤忠治会長】

全部で15分である。

検討内容の資料を参加者に配付する予定である。資料として手元にあったほうが意見も出しやすいのではないか。開会のあいさつの中で触れるので自主的審議事項の報告は長々としなない。グループのリーダーの説明に時間を充てる予定である。各グループで簡潔に報告してもらえればありがたい。

例年、防災無線等で周知しているが、皆さんからなかなか集まっていただけない。しかし、今年は自主的審議事項の取組状況の報告もあり、関心があれば集まってもらえるのではないか。だが、ふたを開けて見ないとわからない。平成30年度の概要説明も行うので、提案を考えている団体や町内会の方からもぜひ参加していただきたい。

それでは、ほかに意見や質問がないようなので、以上で報告事項(2)を終了する。

次に、4. 協議事項に移る。(1)平成30年度地域活動支援事業の取組方針について事務局から説明する。

【佐藤主任】

資料No.3について説明。

【佐藤忠治会長】

今の説明について質問等はあるか。

【朝日班長】

補足説明である。取組方針（案）の2ページ4. 審査項目と事業の選択の③事業の採択等の項目については、平成29年度取組方針の順番と審査手順フローに齟齬があり、審査手順に沿う形で並べ替えをし、網掛けゴシックの部分を追加した。具体的には火防地蔵尊の事業について、採点結果は補助希望額より少ない補助額となる結果となった。地域協議会において相談し、補助額が希望額に満たない場合でも事業を行うか、事業提案者に打診した。補助希望額より少ない補助額でも、事業を行うか確認後決定するということにした。優先して採択する事業の点数の高いものから順に採択するという大原則があり、ボーダラインにかかった場合にどうするかということで一文を加えた。今年度は、まちづくり大潟の事業と大潟フェニックスの事業において、若干の金額調整を行った。そのような調整の余地を残し、全体のバランスを図ることによって提案意欲のある事業提案者の門戸を少しでも広くしたいということで但し書きを加えた。

3ページの6. 補助金額（助成回数・補助率・限度額）であるが、傾斜配分により点数の高い提案からより補助率を厚くすると不公平で不透明な部分が生じるため、「傾斜配分は行わない。」の一文は削除した。また「3回目の助成事業は減額の対象とし、補助額や補助率を協議、決定する。」という一文については、その提案事業が2回目あるいは3回目であるか審査する委員が判断できるものであり、それを踏まえた点数をつけるということが前提となっている。できる限り原則論をスッキリさせるということで削除した。ただし、最後に「事業の審査の結果、不採択となり補助金の交付が行われない場合や、補助希望額として申請した金額よりも減額して交付決定を行う場合がある」という一文を加え、2月17日の成果報告会で配布する概要3ページの補助金額についての説明と同じ表現にすることとした。

【佐藤忠治会長】

本年度の課題や今までの取組を踏まえ、取組方針を見直し今回提案した。異議や質問等はないか。審査を行っていく中で検討事項があればその都度協議、検討していく。原則は本年度まで行ってきたことを踏襲し整理したということである。

この件について、意見や質問はあるか。

(発言なし)

【佐藤忠治会長】

それでは、意見や質問等がないようなので、来年度の地域活動支援事業取組方針は、資料No.3の取組方針(案)のとおりとしてよいか。

(一同了承)

【佐藤忠治会長】

では、資料No.3取組方針(案)のとおりとする。以上で協議事項(1)を終了する。

次に、協議事項(2)自主的審議事項「大潟区の魅力発見・発信」について協議する。協議に入る前に「野鳥・潟湖グループ」の中嶋委員から「朝日池のオジロワシとハクガン」について貴重な映像の提供があったので、協議に入る前に説明を受けながらDVDを視聴したい。

(DVD視聴と中嶋委員解説)

【佐藤忠治会長】

この件について質問はないか。

(発言なし)

【佐藤忠治会長】

では、前回の地域協議会において資料を配布してあるが、協議に入る前に君波副会長より説明する。

【君波豊副会長】

特に説明はないが、それぞれその課題の検討事項を12月21日の地域協議会において発表した。時間の都合で発表のみであったため協議を行いたい。

特に検討するうえで、皆さんから出された内容をピックアップした。朝日池の野鳥、小山作之助については公民館の方でも事業として取り組もうとしている。また、資料の展示場所についても現在の中学校で良いかという話が出ている。人物を取り上げるのであれば顕彰委員会を設けてはどうかという話も出ている。また、祭ではかっぱ祭りの他に、大潟区には氏神様があり五穀豊穰を祈る春と秋の祭礼があり、貴重なので残していく必要があるのではないかと。体操アリーナについては、いよいよ実現するという事になってきた。体操アリーナを中心として、大潟区を体操やスポーツの町として売り出していく必要があるのではないかと。また、全体を通してストーリー性、キャッチコピーを

どうするかという話も出ている。

今の映像を見て感じたが、チャンスをもものにする、事前にどういう映像とするか検討が必要ではないかと改めて感じた。

もう一つは魅力発信コースの整備やアクセスをどうするか、そんな所も論議の的にしていただければ良いのかと考える。

【佐藤忠治会長】

今後の予定として相談であるが2月の地域協議会はグループごとの検討協議としていきたい。本日は全体の意見を聞いて、次回にグループとして再度検討していただきたい。柳澤委員から、三和区が平成28年度地域活動支援事業を活用して作成した名勝めぐりのパンフレットのコピーの提示があったので、今後の参考として配布する。

【柳澤周治委員】

まちづくり大潟で情報収集している一つとしてあったので参考としていただきたい。

【佐藤忠治会長】

鵜の浜温泉開湯60周年記念事業について、協議したという記事が上越タイムスに載っていた。温泉組合に打診して事業内容を聞くことが必要ではないか。関連して、大潟の子どもを育てる会から依頼があり、大潟町中学校2年生が市内の青少年育成団体主催の発表会で発表するにあたり、大人の意見を聞きたいということで、地域協議会と大潟の魅力発見・発信事業について意見交換を行いたいということである。1月23日に行う予定であったが、インフルエンザにより延期となったため2月以降に行う。地域協議会からは検討委員と会長、副会長が出席し中学生と協議する予定である。テーマは偉人・観光・自然について、地域協議会から現状と今後について意見を聞き、中学生の今後の学習の参考としたいということである。

【君波豊副会長】

大潟町時代に、町が中心となり大潟の観光ルートを公募したことがあった。市の方に資料が残っていれば参考になるのではないか。

また、祭りの話が出た時にかっぱ祭りの起源はという質問が委員から出たので調べてみた。第25回かっぱ祭りの頃にまとめた資料が公民館に1冊だけ残っていたので、コピーをして共通認識を図るため委員に配布したい。

中嶋委員にお聞きしたいが、やはり朝日池の魅力としては冬か。春は桜が咲き景観的

にはとてもきれいである。夏は、睡蓮の花も咲かなくなったのであまり魅力がないのではないか。

【佐藤忠治会長】

中嶋委員、どうであるか。

【中嶋浩委員】

朝日池だけではなく、今の中学校の取組についてだが、私が案としていただいた課題は「自然（水と森公園を中心に）」である。とらえ方としてはその方がよいのではない。たまたま見ていただいたのは朝日池であるが、これだけでは何もならない。自然豊かで野鳥が来るコンパクトな自然が大潟にあるというとらえ方で行く。自然を核として、施設が大潟水と森公園に集約されている。「自然（水と森公園を中心に）」という中で、渡り鳥の一例をあげて子どもたちの発想を広げていければと考えている。

【佐藤忠治会長】

小山委員は自然豊かなところに住んでいるがどうか。

【小山茂委員】

昔は子供たちと（朝日池で）ハクチョウなどにパンくずなどを与えた。20羽ぐらい来た。ヒシやジュンサイなどもあった。土地改良区に聞けば朝日池の歴史がわかると思う。外来種の駆除のために網ひきなどもしていたが今はしていない。蓮、睡蓮も外来種によってなくなった。蓮がなくなった原因は塀を高く作って水位が上がったことも一因である。水がいっぱいに見えるが、水面から下1メートルくらいは泥である。ソウギョを入れてきれいにすればよい。いもり池などは、ソウギョできれいになったと聞いたが、土地改良事業でできるのではないか。

【細井義久委員】

朝日池もここ2、3年の間に蓮がなくなった。土地改良区で地引網を行ったが、地引網でかかった魚の中にブラックバスがあがった。生態系が変わってきて、在来種の魚がブラックバスに食べられて繁殖できないのではないか。

【君波豊副会長】

今から15～16年前に干ばつで干上がった時があったが、その辺りから変わってきたのではないか。

【細井義久委員】

私が小学生の頃、朝日池の坂の下の辺りに清水が湧いていて、そこから簡易水道を引いていた。

話は変わるが、大潟区の新年祝賀会があった2日後ぐらいに、ハクガンが2羽飛んでいるのを見た。

【小山茂委員】

野鳥を見に来る人はごみを捨てていかない。ごみを捨てるのは、主に地元の人である。

【佐藤忠治会長】

近くに住んでいる人ならではの話を聞いた。次回地域協議会でグループ討議を行い、話を詰めていきたい。

以上で協議事項（2）を終わりにする。

その他に入る。本年度の視察研修について事務局から説明する。

【朝日班長】

視察研修は、3月8日（木）午後12時50分から実施する。視察先は、オーレンブラザ、新クリーンセンター、有田小学校である。

地域活動フォーラムは、3月4日（日）午後2時から4時まで、会場はくびき希望館である。貴重な機会であるのでぜひ、出席いただきたい。

【佐藤忠治会長】

何か質問はあるか。

（発言なし）

【佐藤忠治会長】

それでは、次回の予定について次長から連絡する。

【熊木次長】

第10回協議会は2月22日（木）午後6時30分からとしたい。

（一同了承）

【佐藤忠治会長】

今回は、自主的審議事項「大潟区の魅力発見・発信」について、グループ討議を中心に行う。

他に連絡事項はあるか。

【中嶋浩委員】

成果報告会での自主的審議事項についての報告であるが、入れ替わり立ち代わり説明するより、最初に概要を説明し地域住民の協力を仰ぐということで良いのではないかと。各々説明するまでに至っていないのではないかと。

【佐藤忠治会長】

私の方から概要を説明し意見を求めても、なかなか意見はでないと思う。それより各グループで討議した内容を話した方が真剣さが伝わると思う。各々持っている思いが伝わったほうが効果的ではないかと。

【中嶋浩委員】

これからのものが多い中で、誰か1人が説明したほうが聞く側としてはわかりやすいのではないかと。きちんと決まったら2、3人と説明してもよいかと。

【佐藤忠治会長】

ほかのリーダーの方は、どうか。

【柳澤周治委員】

来ている人に取組状況を説明するレベルの話である。地域住民に意見を聞く場であるということであればもう少し時間が必要である。報告する場であれば、会長がまとめて報告することで良い。各グループで討議の内容を話すのであれば3分という時間は少なすぎる。全体の流れとして時間が取れないのであれば、取組状況の報告をするということにとどめるべきではないかと。

【君波豊副会長】

未完成の段階で、意見を聞く時間を少しでも増やした方がよいのではないかと考える。会長から報告してもらい、意見質問が出たときは各グループの代表から答えてもらうという形で良いのではないかと。

【佐藤忠治会長】

では私の方から説明し、具体的な質問があれば各グループの代表から答えてもらうこととする。

他になければ終わりにする。

【君波豊副会長】

・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

大潟区総合事務所 総務・地域振興グループ TEL : 025-534-2111 (内線 201、216)

E-mail : ogata-soumu.g@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料も併せてご覧ください。